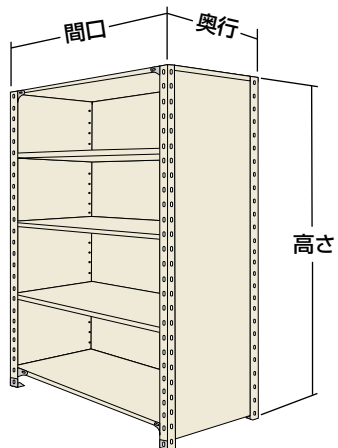


スチール棚 (軽量パネルタイプ) 組立説明書



※組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。組み立て後は組立説明書を大切に保管してください。

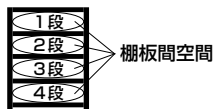


耐荷重：棚板 1 枚あたり 120kg

寸法 (mm) :
高さ … 1200/1500/1800/2100/2400
間口 … 875 / 1200 / 1500 / 1800
奥行 … 300 / 450 / 600

有効段数：(ご注文棚板枚数) - 1

※寸法はアングルと棚の外寸となります。
※有効段数とは棚板間空間数をさします。
例)ご注文棚板枚数 5 枚 → 4 段式 (棚板間空間数 4)



必ずお守りください

設置上の警告



組み立てはスペースに余裕のある平らな場所を選定し、部材・部品を確実に結合してください。棚の落下や転倒による事故の原因となります。

- ・重量物なので組み立ては2人以上でおこなってください。
- ・金属製のため部材の切り口や棚板のコーナー部分等が鋭利となっている場合がありますので、軍手等をご使用されることをお勧めします。部材の取扱いには十分にご注意ください。

注意

組み立て・設置について

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具等にキズがつかないように丁寧に取り扱いください。
- 必ず純正部品をお使いください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

使用について

- 耐荷重を超えて使用しないでください。破損する恐れがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に置いてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて曲がる場合があります。
- 下段より上段のほうに重いものを置かないでください。重心が上になり不安定になります。



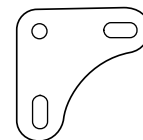
お手入れ方法

- ボルトやナットのゆるみが発生した場合は、増し締めをおこなってください。
- 通常の汚れは固くしぼった布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、その後水分が残らないように十分に拭き取ってください。シンナー・アルコール類は使用しないでください。

組立部材

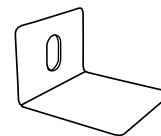
※棚 1 台の
内容物です。

① アングル (支柱)
… 4 本

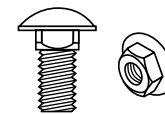


⑤ コーナープレート
… 4 枚

④ 棚板
… ご注文枚数



⑥ ベースプレート
… 4 枚



⑦ M6 ボルト・ナットセット
… 棚板枚数分

② 背面パネル
… 1 ~ 2 枚

※パネルの枚数は棚のサイズ
によって異なります。
詳細は下表をご参照ください。

③ 側面パネル
… 2 ~ 4 枚

■パネル梱包組み合わせ表 単位：枚

高さ	875mm		1200mm		1500mm		1800mm	
	側	背	側	背	側	背	側	背
1200mm	2	1	2	2	2	2	2	2
1800mm	4	2	4	2	4	2	4	2
2100mm	4	2	4	2	4	2	4	2
2400mm	4	2	4	2	4	2	4	2

※出荷品により上表と異なる場合があります。

※最初に必要な部材が揃っているか確認してください。似たような部材でも上下左右で異なる場合がありますのでご注意ください。

販売元

有限会社 オーエス商会

TEL : 0263-88-5730

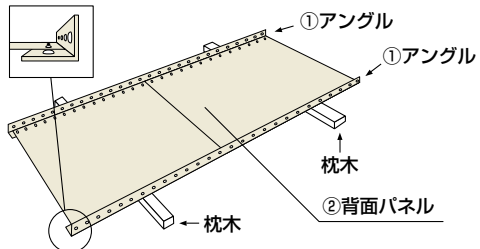
受付時間：10:00~17:00

製造元

瀬戸内スチール株式会社

1. アングル(支柱)と背面パネルの配置

- ネジを入れやすくするため、枕木の役目となる棒等を用意します。その枕木の上にアングル(支柱)を2本寝かせるようにして配置します。この2本のアングルは、背面側のアングルとなります。
- アングルの上に背面パネルを配置します。その際、アングルのビス穴とパネルのビス穴をあわせませます。最上部は、アングルとパネルがぴったり上側で合うように配置します。**背面パネルが2枚ある場合は、両パネルのビス穴が合致するように重ね合わせて使用します。**

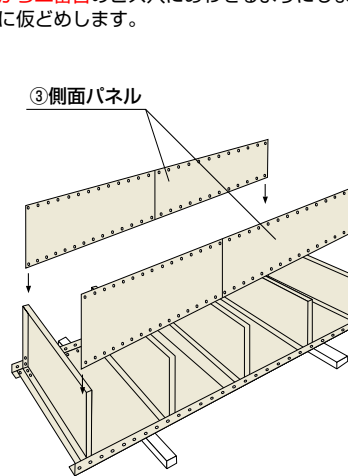
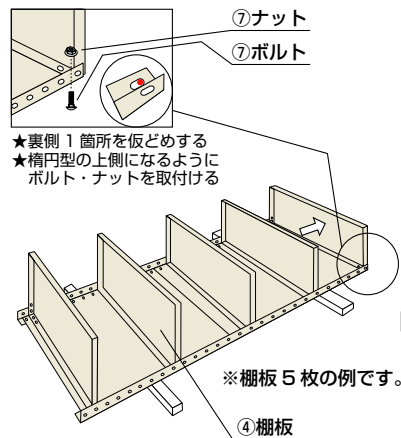


枕木は以下のもので代用できます。

- ・木製の角材
- ・厚めの雑誌や書籍
- ・ティッシュの箱
- ・段ボールを丸めてテープでとめたもの等

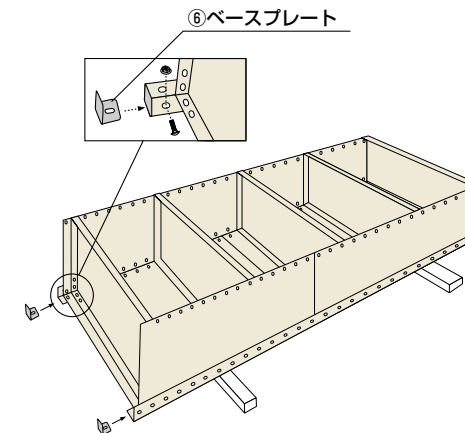
2. 棚板の仮どめと側面パネルの取り付け

- すべての棚板を「仮どめ」(手で締め付ける程度)します。ただし、仮どめする場所は、背面パネル側(背面パネルとアングルと棚板の接続箇所)の1箇所のみとします。※棚板1枚につき2箇所
- ボルトとナットで仮どめする際は、アングルにある楕円型のビス穴の上側に接続位置がくるように棚板を置いておこないます。
- 棚板の間隔は、積載する荷物等の大きさにあわせてお好みの位置に取り付けて下さい。最下段も同様に仮どめしますが、棚板はアングルの一番下のビス穴ではなく**下から二番目**のビス穴にあわせるようにします。
- 次に、側面パネルを棚板とアングルの隙間に差し込み、同様に仮どめします。



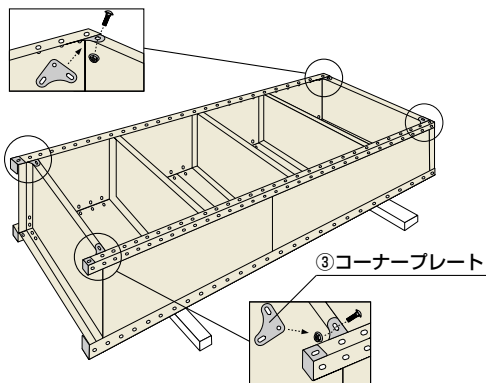
3. ベースプレートの取り付け

- アングルの底部にはベースプレートを取り付けます。ベースプレートは支柱底部に裏側から被せるように取り付けます。



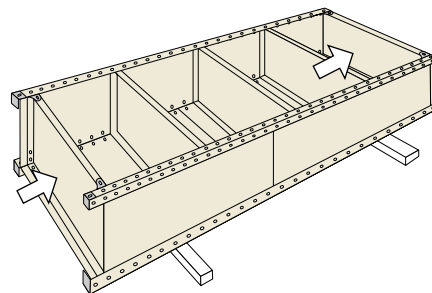
4. 前面のアングルの取り付け

- 残りのアングルを棚板に配置し、背面側と同じ要領で仮どめします。この2本のアングルは、前面側のアングルとなります。
- 下図の丸印の4箇所については、コーナープレート(角材)を棚板とアングルの間に挟み込んで仮どめします。



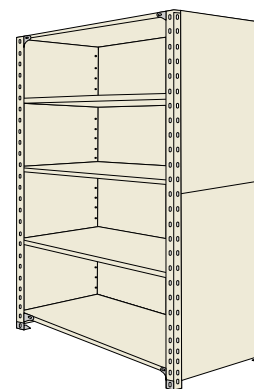
5. 本締め後、棚を起こす

- すべてのボルト・ナットを本締めします。
- アングルが上に突き出さないように、棚板を矢印方向に寄せながら本締めします。
- ビスどめがすべて終わりましたら、棚を起こします。



6. 完成

- 起こした棚を設置場所に移動させて完成です。



コーナープレートは前面側4箇所に取り付けます。
※枚数は1台につき4枚となります。